

令和3年度第1回 横浜市外郭団体等経営向上委員会会議録	
日 時	令和3年8月26日（木）[13:30~17:00]
開催場所	横浜市庁舎18階 共用会議室 みなと4
出席者	鴨志田委員長、碓井委員、田邊委員、戸田委員、治田委員
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者なし）
議 題	<p>○総合評価等の実施について</p> <p>[議題1] 公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会</p> <p>[議題2] 公益財団法人横浜市国際交流協会</p> <p>[議題3] 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団</p> <p>[議題4] 公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー</p> <p>[議題5] 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団</p> <p>[議題6] 横浜シティ・エア・ターミナル株式会社</p> <p>[議題7] 横浜高速鉄道株式会社</p> <p>[議題8] 横浜市信用保証協会</p> <p>[議題9] 公益財団法人横浜市建築保全公社</p> <p>[議題10] 横浜食肉市場株式会社</p> <p>[議題11] 株式会社横浜市食肉公社</p> <p>[議題12] 公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会</p>
決定事項	<p>・各団体の総合評価シート等に対する委員会からの確認事項等を決定し、次回審議で所管課及び団体からの回答の確認、暫定評価の決定をすることとした。</p>
議 事	<p>[議題1] 公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会</p> <p>1 総合評価等の実施について</p> <p>（事務局）</p> <p>・総合評価シートに基づく自己評価について説明</p> <p>2 委員からの意見・確認事項</p> <p>（戸田委員）</p> <p>・団体の公益的使命に対し、実施している事業が多い印象を受ける。</p> <p>（事務局）</p> <p>・過去の委員会で同様の指摘を受け、事業を絞るなど整理を行ってきた。その結果、現在では、協約目標に掲げている女性への就業等支援、DV相談など困難な立場にある男女への支援、ハラスメント防止対策の推進を中心におこなっている。</p> <p>（治田委員）</p> <p>・協約目標の達成に向けたプロセスを明確にしてほしい。</p> <p>・また、サービスを提供するターゲットに対する考え方を知りたい。</p> <p>（鴨志田委員長）</p> <p>・協約目標の達成に向けては、サービスを提供すべき人に提供できているかが重要である。</p> <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「サービスを提供するターゲットを絞っていくべき」と考えるが、見解を伺いたい。
	<p>[議題 2] 公益財団法人横浜市国際交流協会</p> <p>1 総合評価等の実施について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シート等に基づく自己評価について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項 (田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、外国人労働者が増えていく中で、大事なことはいわゆる外国人との共生となるので「在留資格を持った人には、市民としての役割を果たしてもらおう」という考え方。 ・団体には、その様な外国人に市民としての役割を果たしてもらうための課題整理と啓発活動などが求められる。 <p>(碓井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務に関する取組について、コロナの影響により目標に対して遅れが出ている。この団体に限らず、収入が減った場合は市が補填するのが基本的な考えなのか、それとも団体の努力で補うのか、教えてほしい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外郭団体は自主自立が基本ではあるが、市の代わりに市民サービスを提供している団体でもあるので、市民サービスがストップする様な場合は市が補填を行う等、個別に支援する事もある。 <p>(鴨志田委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度の直近までの収益・費用の状況を教えてほしい。 ・老朽化する国際学生会館について、今後の検討状況を教えてほしい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際学生会館については、団体だけではなく市の課題でもある。検討状況については確認する。 <p>3 所管局、団体への確認事項について 以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度の直近（令和 3 年 8 月）までの収入・支出（又は収益・費用）を教えてください。 ・在留資格を持っている外国人に対して、市民としての役割を担ってもらう上での課題整理及び啓発活動について、団体はどの様に考えているか。 ・国際学生会館について、運営や修繕に対する検討状況を教えてほしい。
	<p>[議題 3] 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団</p> <p>1 総合評価等の実施について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シート等に基づく自己評価について説明 ・協約等（素案）について説明

2 委員からの意見・確認事項

(田邊委員)

・市財政の寄与として、市からの補助金削減やさらなる支出削減などの項目を目標とすべきだが、団体の見解を知りたい。

・「人事・組織に関する取組」については、個々の団体で研修をするのではなく、市による合同研修を実施することがより効率的だと思われる。

(事務局)

・必要性が高い情報セキュリティや障害者雇用に関する研修については、外郭団体職員向けに市が主催して行っている。また、市職員研修にも団体職員が参加できるよう取り計らっている。

(戸田委員)

・施設の状況を把握するため、団体が運営する7館、それぞれの収支を知りたい。

・収入増や支出の削減を求めるには、そのことによるインセンティブがないと団体は努力しないのではないか。

(事務局)

・団体の目標はあくまで公益的使命の達成であり、それをより効率的に達成するために収支の改善は求めるが、それ自体が目標ではない。収支の改善をした結果、使命を達成し、住民サービスの拡大、効率的な住民サービスの提供が可能なることが団体としてのインセンティブになると考える。

(碓井委員)

・令和3年3月末の正味財産増減計算書を確認すると、前年から投資有価証券が6,000万円増加している。有価証券を購入する際の団体内での手続きを知りたい。

3 所管局、団体への確認事項について

以下、確認事項

・施設ごとの収支情報。

・前年と比較して投資有価証券が6,000万円増加している理由及び有価証券を購入する際の団体内での考え方や手続きについて。

・市財政への寄与として、市からの補助金削減やさらなる支出削減などの項目を目標に入れるべきと考えるが、見解を伺いたい。

[議題4] 公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー

1 総合評価等の実施について

(事務局)

・総合評価シート等に基づく自己評価について説明

・変更協約等(素案)について説明

2 委員からの意見・確認事項

(田邊委員)

・職員満足度は職員と経営層の意思疎通を図るなどにより改善してきている。

・賛助会員満足度については、賛助会員が恩恵を受けるような仕組みづくりをし、団体が一生懸命努力しているが、コロナ禍で観光客が激減するような状況であれ

ば、メリットを享受できなく退会してしまうことはある意味仕方がない。

(治田委員)

- ・ドラマなどで横浜が取り上げられ露出度が上がっていると思うが、そのことによる経済的な効果等、団体はどのように捉えているのか。
- ・経済的効果を求めるならば、指標はユニークユーザー数でよいのか悩ましい。
- ・ユニークユーザー数獲得のために具体的にどのような取組を行っているのか知りたい。

(事務局)

- ・観光の振興等をどのような数字で測るのかは悩ましいところである。

(戸田委員)

- ・横浜市の観光施策において、市と団体の役割の違いはなにか。

(事務局)

・市の文化観光局が観光M I C E 振興の政策立案や、庁内調整を担い、団体は市の中期4か年計画で掲げる「観光M I C E による地域経済活性化」の実現のため、短期的な戦略検討、事業展開、さらに、民間事業者と行政のパイプ役として重要な役割も担っている。

3 所管局、団体への確認事項について

以下、確認事項

- ・ユニークユーザー数獲得のため、具体的にどのような取組を行っているのか。
- ・横浜がドラマに取り上げられるなど、注目度は高まっており、都市としての価値が上がっていると思うが、こうしたことについて団体はどのように捉えているか。

[議題5] 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

1 総合評価等の実施について

(事務局)

- ・総合評価シート等に基づく自己評価について説明
- ・協約等(素案)について説明

2 委員からの意見・確認事項

(戸田委員)

- ・経常収益が約4億円あり、その半分を事業収益で上げている。「その他事業収益」となっているが、どのようなビジネスモデルなのか。
- ・建物は減価償却しているようだが、団体が保有しているのか。

(事務局)

- ・事業収益については、YBIC(横浜バイオ産業センター)という施設を運営しており、その賃料収入が事業収益の柱となっている。製薬などのバイオ関連企業に貸し出している。
- ・土地は市有地だが、建物は団体が保有している。

3 所管局、団体への確認事項について

以下、確認事項

- ・特になし。

[議題6] 横浜シティ・エア・ターミナル株式会社

1 総合評価等の実施について

(事務局)

- ・総合評価シート等に基づく自己評価について説明
- ・変更協約等(素案)について説明

2 委員からの意見・確認事項

(戸田委員)

・コロナ禍により、今まで黒字だったのが急激に落ち込み赤字になった。同じような状況で、航空会社は他業種への職員の出向や長期休暇による勉強留学等、人材投資を行い、利益にも繋がる対応を進めている。当団体においてもその様な対策を検討した方が良いのではないか。

- ・160万円の補助金はどのような目的なのか確認してほしい。
- ・TCATの運営についても確認してほしい。

(鴨志田委員長)

・公益的使命の達成に向けた取組の目標①②を大幅に下方修正し、それに伴い③も修正しているが、原価削減等、自助努力が反映されているのかどうか確認してほしい。

3 所管局、団体への確認事項について

以下、確認事項

- ・財務状況が厳しさを増している中で、例えば航空会社は他業種に職員を出向させたり、1年間の勉強留学をさせたりするなど原価削減に取り組んでいるが、団体ではそのような検討はしているか。
- ・収入減少に伴い、自助努力による経費削減をより具体的に考えた方が良く考えるが、見解を伺いたい。
- ・市からの補助金(160万円)はどのような目的、事業内容か。
- ・TCAT(東京シティ・エア・ターミナル)の運営形態や運営方法について、YCATと比較して具体的に教えてほしい。

[議題7] 横浜高速鉄道株式会社

1 総合評価等の実施について

(事務局)

- ・総合評価シート等に基づく自己評価について説明
- ・協約等(素案)について説明

2 委員からの意見・確認事項

(田邊委員)

・35億円の赤字から令和3年度1億円の黒字の計画であり、急激に改善しているが、具体的な計画を説明してほしい。

(戸田委員)

- ・取締役の一人当たりの報酬額を確認してほしい。

	<p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常勤役員報酬額の金額（総額と一人当たり平均）。 ・35億円の赤字から、1億円の令和3年度黒字の計画であり、急激に改善しているが、具体的な計画を説明してほしい。
	<p>[議題8] 横浜市信用保証協会</p> <p>1 総合評価等の実施について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シート等に基づく自己評価について説明 ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項 (田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協約等（素案）の「財務に関する取組」は、団体の財務に関する指標ではなく、利用企業の経営改善を通じて団体の財務の健全性を維持するという目標の立て方になっている。むしろ、「公益的使命の達成に向けた取組」として設定したほうが適切と思うが見解を知りたい。 <p>(戸田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保証承諾額に占める代位弁済額の割合は、どれくらいなのか。他都市の信用保証協会と比較して教えてほしい。 <p>(碓井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸借対照表に仮受金20億円が計上されているが、その内訳を教えてください。団体特有のものであれば問題ないと思うが、一般的には決算時になるべく清算するものと思う。 <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務に関する取組の「専門家派遣の推進」は、公益的使命の達成に向けた取組として設定したほうが適切と考えるが、見解を伺いたい。 ・全国の信用保証協会と比較した代位弁済率等のデータ。 ・貸借対照表上の仮受金20億円の内訳。
	<p>[議題9] 公益財団法人横浜市建築保全公社</p> <p>1 総合評価等の実施について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シート等に基づく自己評価について説明 ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項 (田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IoT や AI の活用によるコスト削減など、委員会の提案をしっかりと受け止め多くの改革をやってきた団体だと理解している。また、新協約の「人事・組織に関する取組」の「責任職に占める女性の割合」は、女性が働きやすく、活躍できるまちを

	<p>実現するという市の政策を踏まえており、前向きに取り組んでいると評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題である高齢者や外国人の雇用、テレワークの活用も検討してほしい。 <p>(戸田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この団体が扱う公共建築物とは、学校施設以外に橋やトンネルも対象なのか。また、外郭団体で保全をやる理由は何か。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の建物がほとんどで、地区センター、スポーツセンター、文化センター等も対象だが、橋やトンネルは対象ではない。それらは道路局で扱っている。 ・市では契約期間や契約内容でいろいろ制限がある。より効率的に契約を結ぶなど、柔軟に対応するために外郭団体でやっている。 <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市に代わり、事業者が設計・仕様通りに施工できているのかを、団体が管理監督をしている。また団体が行うことでコストを下げられている。 <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの委員会からの指摘をしっかり捉え、前向きな協約になっていると評価できる。 ・「人事・組織に関する取組」について、まさに女性登用は取り上げるべき課題である。 <p>加えて、高齢者や外国人の雇用、テレワークの活用も検討してほしい。</p>
	<p>[議題10] 横浜食肉市場株式会社</p> <p>1 総合評価等の実施について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シート等に基づく自己評価について説明 ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項</p> <p>(田邊委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の施策との関係もあるので、団体側からの取組は難しいと思うが、もし横浜食肉市場(株)と(株)横浜市食肉公社が合併することによる効果が期待できるのであれば、合併も一つの方法だと思う。そのような検討をする意味があるか、確認したい。 <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2団体((株)横浜市食肉公社と横浜食肉市場(株))を合併することによる効果について、これまでの検討の有無及び見解。
	<p>[議題11] 株式会社横浜市食肉公社</p> <p>1 総合評価等の実施について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シート等に基づく自己評価について説明

	<ul style="list-style-type: none"> ・協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項</p> <p>（田邊委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜食肉市場(株)の審議でも同じ確認をしているが、(株)横浜市食肉公社と横浜食肉市場(株)を合併することによる効果があるのか、検証する必要があると考える。国の施策との関係もあるので、団体側からの取組は難しいと思うが、もし合併による効果が期待できるのであれば、合併も一つの方法だと思う。そのような検討をする意味があるか確認したい。 ・同じような業務を行う近隣他都市と連携することで、業務を効率化することができないか確認したい。 <p>（戸田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未計上の退職給付引当金が4億5,300万円ある。引き続き注視が必要と思う。 <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2団体（(株)横浜市食肉公社と横浜食肉市場(株)）を合併することによる効果について、これまでの検討の有無及び見解。 ・近隣他都市において同じような機能を持つ団体・組織の連携・集約による合理化の可能性について、これまでの検討の有無及び見解。 ・退職給付引当金の引き当て不足に対する今後の計画。
	<p>[議題 12] 公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会</p> <p>1 総合評価等の実施について</p> <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シート等に基づく自己評価について説明 <p>2 委員からの意見・確認事項</p> <p>（治田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寿地区の住民が高齢化している。福祉的なケアが必要になり、福祉の向上を図る目的もある等、多面的な使命を抱える団体である。 <p>（戸田委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「経営改善委員会」を年45回開催しているが、どの様な活動をしているのか。 ・収入が意外に多い。収益事業は寿地区の社会福祉向上に結び付いているのか。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理施設運営に対する指定管理料と委託料が市から支払われている。 <p>（碓井委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体基礎資料について、前年比で増加している人件費を再度確認してほしい。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費に非常勤職員分を含めるよう整理したことによる増と考えられる。 <p>3 所管局、団体への確認事項について</p> <p>以下、確認事項</p>

	<p>・「経営改善委員会」を年 45 回開催しているが、具体的な活動内容や審議内容等を教えてほしい。</p>
資 料	<p>資料 1 : 諮問</p> <p>資料 2 : 総合評価シート</p> <p>資料 3 : 協約等 (素案) ※「協約等」策定団体のみ</p> <p>資料 4 : 変更協約等 (素案) ※該当団体のみ</p> <p>資料 5 : 協約変更説明書 ※該当団体のみ</p> <p>資料 6 : 現協約の考え方 ※該当団体のみ</p>